

8-6-1 RCCM資格制度委員会

1. 主な活動の記録

(1) RCCM 資格制度委員会の組織

委員会は更新講習 WG、技術者資格対応 WG、試験検討 WG の 3 つの WG と自主学習システム専門委員会で活動を行っている。

(2) RCCM 資格制度委員会の開催

RCCM 資格制度委員会は、対面会議+Web 併用で、9 回開催した。

(3) WG 等の活動

a) 試験検討 WG

資質確認のための試験方法や、RCCM 資格制度に係わる課題の検討を行った。

RCCM 有資格者に求められる「管理技術力」について、その資質を次のように整理した上で、RCCM 資格試験「問題 3 管理技術力」について過去の問題を精査した。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 業務関連法制度等の理解力<ol style="list-style-type: none">1) 建設コンサルタントの役割理解2) 建設コンサルタント等業務管理の理解3) 技術者倫理4) 建設コンサルタントに係る一般の動向等2. 業遂行能力<ol style="list-style-type: none">1) 業務の把握能力2) 組織(体制)管理能力3) 工程管理能力4) 品質管理能力(瑕疵の防止能力)5) 安全管理能力6) 成果品等での適切な表現能力7) 発注者との協働能力8) 業務計画・企画能力等9) その他の必要な管理技術力 |
|--|

その結果、業務遂行能力に関する出題を増やす必要があると判断し、RCCM 試験問題作成委員会に要請、「基本的に了解、検討する」との回答を得た。

さらに、地方自治体における入札契約において RCCM 資格の利活用実態を把握し、すべての都道府県で活用されていることを確認した。

b) 更新講習 WG

令和 5 年度は、会長講話 1 コンテンツ(会長交代による更新)と講師 20 名による講演 21 コンテンツ(うち 14 コンテンツ更新)を公開した。なお、講師は 1 名交代した。また、令和 4 年度の受講者アンケートを分析し更新に活かした。

c) 技術者資格対応 WG

令和 5 年度の国土交通省技術者資格(以下「技術者資格」という)は、平成 30 年度新規登録(5 年に 1 度の更新登録が必要)した 2 施設分野、11 技術部門について更新登録申請を行った。また、新たに募集のあった 3 施設分野について、登録要件を確認し、計画調査設計業務の施設分野「舗装」に対して、RCCM(道路)を新規登録の申請をしたが、舗装に特化した試験でないとの理由で、登録されなかった。

d) 自主学習システム専門委員会

更新登録に使用する建設一般 4 教材と専門技術 22 教材の自主学習教材について、改訂された 23 教材の審査などを行った。教材は、法制度、技術基準、維持・管理等の学習内容を充実させた。また、次年度の改訂にあたっては、令和 4 年度の受講者アンケートを分析し、改訂の参考となるようにするとともに、積極的な改訂を要請した。

(4) RCCM 登録に必要な CPD 単位の変更の周知

RCCM 更新登録に必要な CPD 単位数の移行は、コロナ禍による CPD 機会への影響を勘案し、令和 2 年度からの施行を見送り、令和 3 年以降 150 単位/4 年、令和 7 年以降推奨単位数の 200 単位/4 年としていることの周知を図った。

2. 次年度の活動について

新たな中期行動計画の施策「適正な資格制度の充実」の実現に向けて、今年度の活動を拡充充実し、①社会の変化に対応した資格制度の見直し、②RCCM 資格の活用と適切は評価の推進、③登録更新講習(Web)の充実、④技術者資格登録への対応、⑤自主学習教材の改訂と充実、⑥RCCM 資格制度の広報などを継続実施する。

(RCCM 資格制度委員会委員長 水野 雅光)